

2024年度 公益財団法人日本バレーボール協会公認
ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会開催要項

1. 目的 国民の代表的な生涯スポーツとして全国で展開している「ソフトバレーボール」を正しく指導、審判、競技運営できるリーダーの養成を目的とする。
2. 主催 (公財)日本バレーボール協会 日本ソフトバレーボール連盟
3. 後援 開催都道府県・市町村教育委員会 開催都道府県・市町村スポーツ協会
開催都道府県・市町村スポーツ推進委員連絡協議会 等
4. 協力 開催地において、随時、協力・支援を受けることができる。
5. 主管 (公財)日本バレーボール協会 指導普及委員会
日本ソフトバレーボール連盟 指導普及委員会
開催都道府県バレーボール協会 開催都道府県ソフトバレーボール連盟
6. オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン
7. 期 日 6月1日～12月31日
※原則、マスターリーダー養成講習会・研修会の日は、本講習会を開催しない。
8. 開催地 希望都道府県。開催希望調査により、全国15会場程度を予定。
9. 参加資格 (1) 各都道府県バレーボール協会・ソフトバレーボール連盟関係者
(2) 各都道府県・市区町村スポーツ行政担当者
(3) その他、小学生バレーボール指導者、一般愛好者 等
のいずれかで、ソフトバレーボール指導者としての活躍を希望する者。
※ 参加申込時にJVA個人登録(メンバーID取得)を完了していること。
10. 講習内容 【(プランA)・(プランB)のいずれかを開催地で選択・決定する】
 - (1) (PLAN A) 2日開催
 - ・1日目 《講義》
 - 4時間 ・国民のスポーツニーズの動向、ソフトバレーボールの歴史と普及の意義 (40分)
 - ・ソフトバレーボール指導者のあり方 (40分)
 - ・ソフトバレーボールの競技規則 (80分)
 - ・開催地連盟の現状と課題、各種大会の企画と運営 (80分)
 - ・2日目 《実技》
 - 6時間 ・ソフトバレーボールに適した準備運動とトレーニング (60分)
 - ・ソフトバレーボールの指導法 (120分)
 - ・ソフトバレーボールの審判法 (180分)
 - (受講生でチームを編成し相互審判でゲーム)
 - (2) (PLAN B) 1日開催
 - ・1日目 《集合講習～基礎理論》
 - 6時間 ・ソフトバレーボールの歴史と普及の意義 (30分)
 - ・ソフトバレーボール指導者のあり方 (30分)
 - ・ソフトバレーボールの競技規則 (60分)
 - ・開催地連盟の現状と課題、各種大会の企画と運営 (60分)
 - 《集合講習～実技》
 - ・ソフトバレーボールの指導法・審判法 (180分)
 - ・2日目 《その他～指導実習》
 - 4時間以上 ・基礎理論及び実技の受講修了後、開催地連盟で開催される大会等で、競技運営に従事する。 (240分)
- ※集合講習の前に指導実習を済ませることは認めない。
- ※「指導実習」終了後、開催地責任者が、担当公認講師へ報告し認定する。
- ※PLAN Bの『指導実習』は12月末までに終了すること。
11. 講師 (公財)日本バレーボール協会 公認講師を派遣する。
12. 資格付与 全課程を履修した受講者には、(公財)日本バレーボール協会が、「公認ソフトバレーボール・アクティブリーダー」として認定する。

13. 受講料 開催都道府県バレーボール協会・ソフトバレーボール連盟で決定する。
(ソフトバレーボールハンドブック、ルールブック、競技運営のてびき、認定証・修了証、ワッペンの代金を含む)
14. 申込方法 開催地で決定し、案内・受付する。
【受講申込書にJVA個人登録のID番号の記入が必要】
15. 開催手続き
(1) 提出書類 開催計画書(様式1-1)・予算書(様式1-2)
① 開催実施要項 ※提出期限:開催1ヶ月前までに提出。
提出期限:4月30日必着。
② 受講生名簿、実施報告書(様式2-1)・決算書(様式2-2)
提出期限:PLAN Aは、講習会終了後、1ヵ月以内
:PLAN Bは、指導実習終了後、1ヶ月以内
ただし、開催日程が遅い場合でも「受講者名簿」「実施報告書」「決算書」は、1月末までに担当者に提出すること。
- (2) 提出先 〒572-8572 大阪府寝屋川市幸町26-12
大阪公立大学工業高等専門学校 橋爪 裕
携帯 090-8524-1574 MAIL volleyball@email.plala.or.jp
16. その他 安全対策や旗の掲揚等、(公財)日本バレーボール協会・日本ソフトバレーボール連盟等が示す運営方法に従うこと。
当日受講生30人以上での開催を目標とする。